



**境 瑞貴**  
Freedom Through  
Konnowledge ~旅の途  
中~

撮影テーマ

今日も子どもたちはあの土地で生きて  
いる

最近のエントリー

- ▶ Heart Beat  
(2013.07.20)
- ▶ School Of Creative  
Communication  
(2013.07.16)
- ▶ Street Children  
(2013.07.15)

アーカイブ

- ▶ 2014年01月
- ▶ 2013年12月
- ▶ 2013年11月
- ▶ 2013年10月
- ▶ 2013年09月
- ▶ 2013年08月
- ▶ 2013年07月
- ▶ 2013年06月
- ▶ 2013年05月
- ▶ 2013年04月
- ▶ 2013年03月

投稿カレンダー

カテゴリー一覧

- ▶ インド/India
- ▶ カンボジア/Cambodia
- ▶ シンガポール/Singapore
- ▶ タイ/Thailand
- ▶ ネパール/Nepal
- ▶ ベトナム/Vietnam
- ▶ マレーシア/Malaysia
- ▶ 中国/China
- ▶ 出発前
- ▶ 台湾/Taiwan
- ▶ 韓国/Korea

ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



海外フォトフィールドワーク WeBlog

Blog

Just The Way You Are

Heart Beat

[Tweet](#)

[Check](#)

"Stop Talking, Start Working"

今回のネパールでのストリートチルドレンの撮影取材はHeart Beatという現地のNGOの協力により成り立ちました。

Heart Beat's supported street youth.  
they are making a difference in environment.



About Heat Beat:  
<http://heart-beat.org/about-us/>

the organization is to empower the youths for street and rural kids like help Food, health, education and other direct need for children life.

Mission  
Contribute for social development through interconnecting youth, children and society  
Objectives

To work on the field of social development in view of making a value based society.

To empower youths through volunteerism and participation in the development issues.

To provide awareness to the society on the social development.

To advocate through activities of different prisons in the country.

To support the needy children for their personal and professional growth.

To empower youth who are prison awareness various issue water and environment ,sanitation awareness in prison ,nation

代表のJujuをはじめとしてNGOのみなさんに本当によくしていただきました。

"Many people change, many things change but i donot change my vison and misson since many year. It easy to say hard to do. you people keep talking and we people will be working" - By Juju

Dream Center





dream center is where children can freely come and play.  
im very glad there is a place like this place for street children...



music games food



Youth Cafe - Eat for cause





ここからは創設者のジュジュの撮った写真も交えてお送りします。

Children enjoyed eating MO:MO in youth cafe!!!!  
youth cafeで昼食のMO:MOを一心不乱に食べる子どもたち。



Movie at Kumari Cinema w/ street-children.  
It was their fist time watching 3D movie. I had a interesting experience.



初めての3D Movieに大興奮の彼ら。  
中には飛び出てくる映像をつかもうとしている子もいて愛くるしかった。



Juju in the movie theater... lol







Nepali ppl speak very good English and I am really impressed.

ストリートチルドレンの中にも英語を少し話す子もいます。  
一体彼らにはどんなバックグラウンドがあるのだろうかと思いを巡らせてしまいます。

Even street children understand some English so we could actually interact.

ゴミ集積所  
garbage collection point



本当にいるんだよ…  
路上生活をする子どもたち。

今まで孤児院や不法移民のコミュニティで出逢ってきた子どもたちとは違う。







I did some volunteer work "T for change" one early morning...



I stayed at informal shelter with street youth. They are around my age and we did have some conversation. It was really nice to meet them.



They build something like a tent illegally and stay there. The place is in a dangerous area. I can't believe that I spent some time w/ them.

We had a tea time together inside.  
They were really friendly and i was surprised by their humanity. They welcomed us.



Their dog somehow loved me and Juju so much.



it was an adventure to me...  
The way to come back from their place, I got injured!!!! Ouch(.\_)(.\_)(.\_)



I am glad that I could meet Juju and people from Heat Beat♡

以前のエントリーでも触れましたが、  
このNGOでは新しい試みとしてCafeをオープンさせたばかりです。

今まで何年も彼らが続けてきたアクティビティーと同時に、新しいプロジェクトを進めていく中で生まれる葛藤や喜び・試練の数々と向き合う姿などを内側から見る事ができたのは本当に貴重な経験になったと思っています。

正直言って、  
思い通りにならない奔放な子どもたちとの生活はとて大変でした。  
撮影に関しては作品作りという観点から見ると全く写真が撮れていません。

けれど、  
自分が本当に向き合いたいテーマと短い時間ではあったけれど本気に向き合えたことに全く後悔はしていません。

子どもたちは...  
ここにしっかりと"存在"している。







I'm powerless.  
Their smiles make me sad sometimes...

There is nothing I can do for them.. For now I can educate myself.

本当に貴重で濃いカトマンズでの一週間の撮影取材の期間を送れました。

My Nepali friend Smritee helped me a lot with my project...  
現地で陰ながらサポートしてくれたネパール人の友人のSmriteeには感謝しても仕切れません。

She is so so so nice :)  
I don't know how I can express my feeling of "Thank you" to her...

@Garden of Dreams  
ネパール自由行動最終日は彼女と一緒に過ごしました。



I went on a date with Smritee today♡♡  
and I had "Nepal Dal Bhat" for my lunch :p





全ての出逢いに感謝です。

ところで、  
"結果"って一体なんだろう。

"過程が大事で結果はその次である"  
...なんて言葉をいつまでも言っているほどお子ちゃまでもない。

今は深く考え込まずに全力で取り組む。  
自分のやりたいことができていることに感謝して今日もただひたすらに必死に進む。

"考えすぎて動けなくなる前にとにかく動いてみる。行動あるのみ"

さてさて、  
フィールドワーク後半の撮影取材はまさに波乱だ…(\*´ω`)

カテゴリ: [ネパール/Nepal](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.07.20 | [バーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

## School Of Creative Communication

[Tweet](#)

[Check](#)

I am sharing stories about my project that i have been working past 4 months at scc kupondol in july 19 friday 2:30 pm.

I am taking pictures of children in many situations such as underprivileged children.

The reasons why I'm doing this project are :  
I want to work for children's rights to give them Love and Hope for a better tomorrow. And be a voice of the unheard cries of the needy children.

In the first, I started this project because I wanted to see the reality of this world. This trip is kind of 6 months of study tour for me. Also, I want to show Japanese people about children's life in Asia and give them chance to think about world and "our" future.

やばいぞ…  
大ごとになってきたΣ(・ロ・;)

カトマンズでの活動中に知り合ったプロの写真家さんの計らいで、写真家や芸術家を目指す人たちの通う学校にて境瑞貴が主役となるプレゼンテーションとフォトトークなるものを開催することになりました。

すでに参加者も増えてきている状態です…

I was actually hoping to get a chance to show my work to people in the world some day. And now I am really happy because I have this great opportunity to meet new people and talk about my project.

精一杯頑張ります。

Thank you very much for giving me a wonderful opportunity, Mr. D Bajracharya!

I hope you guys will enjoy my photographs.

学校側の告知文です↓

'Light' is all about the children who lives in street and orphanage in nine different countries such as Korea, Taiwan, Vietnam, Cambodia, Thailand, Malaysia, Singapore, India and Nepal. 'Light' an ongoing Photography project by Mizuki Sakai, who believes to spread voices "something" to kind people to help children for the sake of all their future thru the pictures. She will talk more on about the project and her created pictures.

Mizuki san is photography student in Nippon Photography Institute in Japan.

Friday: 2:30 pm  
Venue: SCC Kuponol  
Registration : Free

Please telephone or email us in the next 2 days for seat plan.

今日も今日とて...  
出逢いと繋がりタイミングに感謝です。

シンガポールでもとてもいい経験をさせてもらい、とても刺激を受けました。

同時に、人の前に立ち作品やプロジェクトについて表現することへの自分自身のスキルの未熟さを感じていたので今回の機会はとてもありがたいです。

実は明日からナガルコットで休養の予定でした。  
けれど、準備に追われてゆっくりできなさそうですがこれも嬉しい悲鳴です。

インドとネパールでの写真と、スクリーニング前に撮ってきたそれまでの国との写真をじっくりと自分の中で噛み締めながらスライドショー作り等の準備をしたいと思います。

カテゴリ: [ネパール/Nepal](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.07.16 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

## 📷 Street Children

[Tweet](#)

[Check](#)

去年の11月頃から、  
ネパールの情勢について調べているうちに世界にも目を向けている自分に気がつきました。

ユニセフの推定によると3000万人以上のストリートチルドレンが世界中にいます。



子どもたちが路上で生活するようになる原因はざっくり大きく分けると4つ：

- ①戦争
- ②貧困
- ③家庭崩壊
- ④教育システム

ほとんどのストリートチルドレンは田舎からカトマンズへ出てきています。  
田舎で心身共に苦しい生活を送っている時には、都会での生活が輝いて見えて何もかもが簡単に手に入るような気がして…Colorful Lifeを求めて一人で生きていくことを決意して生まれ育った土地を後にします。

しかし、彼らを待ち受けている生活は想像していたものとは違います。

純粋な子どもたちは汚い大人に利用されてしまうことも少なくありません。



そして、深く読み解いているうちに家族が崩壊してしまう理由が少しだけ見えてきました。

・貧困からくる暴力、アルコールや薬物依存、児童労働への悪循環から逃げて、自らの意思で路上での生活や自立を選択する。

・愛情を感じたり信頼のできる人間関係を経験してこれなかったために、自分自身の家庭を築く時にモデルがない。

では、路上で暮らすようになった子どもたちにはもう希望や助けはないのか？

いや、世界には多くのNGOや施設がある。  
そこには一時的ではあるかもしれないけれど、食事もあるし安心して眠れる寝床だって用意されています。



…しかし、多くの路上生活での自由気ままな日々を経験した子どもたちは施設から逃げ出すことも多いのです。

"ハコモノ"や見せかけのサポートではやっぱりダメなんだろう。

例えばストリートチルドレンを支援する場合は…  
その後の子どもたちやスタッフの生活費までずっと計画していかないと破綻してしまう…(\*´ω´)

その後はどうなるの…？  
自分が何かを言える立場じゃないのは分かっているけれど、  
その先の継続の部分が子どもたちのためにも一番大切なんだと"改めて"思っています。

例え…  
そこに思いやりの気持ちがあったとしても子どもたちが愛を感じられなかったら、決まり事ばかりの窮屈な場所にいると感ずることが多いだろう。

それなら、どんなに危険だろうが…  
またお小遣いが稼げてドラッグが吸えて勉強せずに友達と遊んでいられる暮らしを求めてしまうんだと感じています。



表面には出さずに心の中で常に泣いていて、  
深い深い傷をその胸の奥深くに抱えているんだろうな。

親も教育を受けていなくて、  
その必要性が理解できていないことも大きいと思う。

+ネパールでは実際に労働力が必要で子どもは学校に行くよりも働かされるっていう二つの理由がいろんな悪循環を生んでいるんじゃないかな？

自分の先入観や偏見のその奥にある“演じていない子ども”たちと対話をしたって卓上の議論をしながら素直に思いました。

対等にはなれないのかもしれないけれど、  
一人の人間として短い間でも敬意と愛情と共に付き合うことは可能だと信じたい。

そして今、  
子どもたちとも時折顔を合わせる生活をしています。



一緒にMO:MOを食べたり、



映画を見に行ったりもしました。



お腹だって空いているはずなのに、  
おやつとしてもらったビスケットを優しい笑顔で分けてくれる子どもたち。



目の前でタバコやシンナーを当たり前吸う。  
唾を吐き、奇声を発し、急に走り出す子どもたち。

"飲み水"に興奮する彼ら。

Miss!と呼んで、  
目を見て微笑みながら話しかけてくれる子どもたち。

見知らぬ人に頭を叩かれる少年。

肩を組み、戯れ合い、喧嘩をする。  
本当の兄弟のようにすべてを分け合う子どもたち。

森の中の急な坂道を子どもたちと歩いている時に、  
ある2人が両手を取ってくれて"Slowly, be careful"と言って一緒に下ってくれた。

ストリートチルドレンに関連する状況はとても難しい問題です。  
政府は責任を取っていないし、多くの人は彼らに興味すら持っていない状況です。

こんなにも優しく可愛らしい子どもたちは世間から見放されてしまっているのか？

素直さを残しながらも…  
手が付けられないほど自由奔放。



物質的な支援ってすごく大切。  
でも、一番子どもたちが求めているのって…やっぱり"愛"なのではないだろうか？

恥ずかしそうにそっと差し出された彼らの泥だらけの手を握りながらそう感じました。



凍えそうな日に、  
寒さをしのげる布団があったら凄く助かる。

でも、それを…  
優しくそっとかけてくれる存在がいてくれたとしたらどうだろう。

もっともっと彼らのことが知りたい。

カテゴリ: [ネパール/Nepal](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.07.15 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

## Youth Cafe

[Tweet](#)

[Check](#)

"EAT FOR SOCIAL CAUSE "

Need MO:MO in your lunch ??? .....then you should order before one day or before 4 hour, Youth Cafe will be @ your place in time with your lunch for further 9803829738 ..thanks !!

MO:MO







here is price :-  
VEG MO:MO - RS. 65 /-  
CHICKEN MO:MO - RS. 90 /-  
BUFF MO:MO - RS. 70 /-

support them (street children as well as urban area's children ) for fulfill their basic need as well as drag them into bright future, its only possible when they get proper education, can you eat for cause just for them and for their bright future ??? ..think about it. you take your food not just for health now its for cause also !! ...what about your lunch box if you are thinking to take MO:MO in your lunch then definitely it will be the best choice to "EAT FOR CAUSE " indirectly you will support those homeless kids with your lunch

Any order for tomorrow ?????

Just contact " YOUTH CAFE" 9803829738 they will be at your place in time ..Thanks !!

ネパールでお世話になっているストリートチルドレンの支援をしているNGOがカフェをはじめました！収益は子どもたちの未来のために使われます(\*´・ω´)ゞ

本当に美味しいです！  
カトマンズに行く予定がある方は是非♡♡♡

カテゴリ: [ネパール/Nepal](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.07.14 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

## 📷 ねえ、知ってる？

[Tweet](#)

[Check](#)

世界では全人口の2倍の人数を養うことのできる穀物が生産されているんだよ。

なのに…  
7人に1人の人が世界中では飢えて苦しんでいる。

6秒に1人が…  
飢えやその状況に関係した原因で命を落としている。

日本では毎年…  
約1900万トンの食料が捨てられている。

日本の食料自給率は40%で、  
輸入している三分の一の食料が毎年のように廃棄されている。

その食料が"もしも"捨てられずに、  
もっと多くの人々のために届くのだとしたら…  
世界で年間7000万人が毎日食べ続けることができ救われる。

カテゴリ: [ネパール/Nepal](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.07.13 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

## 📷 九カ国目

約三週間のインドでの日々も終わり、  
ネパールへついにやってきました！！！！

Now, I am in Nepal :)

Main Bazar Pahar Ganj  
デリー指定泊周辺のメインバザール



Bye bye, Delhi.



I will definitely come back to India...



現在はカトマンズにてストリートチルドレンに焦点を当てて撮影取材を進めています。  
My project in Nepal is about Children from street. I am doing my project in Kathmandu.



今日はちょっと息抜きに…  
ネパールでのガイドをしてくださっているアショカさんのお宅を訪問させていただきました。

Today, I went to Mr. Ashok's house.  
And his wife made us delicious lunch!!!!!!

本当に大きな家で驚きました！

バドミントンでアジア大会に出場したことがあるだけあり、自宅にもコートがありました。



Yummy food made me so happy♡  
奥様の手作りの美味しい昼食をごちそうになりました。



アシヨカさんと奥様らぶ♡  
素敵なお時間を過ごしている中で言葉の重要性を実感しました。



そして、  
局長のご友人の吉田様より梅干しの差し入れをいただきました。



FW8期一同大喜びです。  
美味しくいただきました、ありがとうございます。



明日は、  
アメリカのドキュメンタリー映画を制作している方の撮影現場に同行させてもらえることになりました♡

今日も出逢いと藝がりとタイミングに感謝感激雨嵐...

Namaste From Kathmandu



カテゴリ: [ネパール/Nepal](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.07.11 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

📷 左手で失礼します...

[Tweet](#)

[Check](#)

Good Bye, India♡



カテゴリ: [インド/India](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.07.07 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

📷 1ルピー

[Tweet](#)

[Check](#)

この国にいると...  
何故だか人生は不平等ではないのかもしれないかとすら感じ始める。

ある日のデリー駅で空きペットボトルを捨てる少年達にであった。

泥だらけの体にボロボロの服。  
髪も何ヶ月も洗っていないであろう容姿だった。

彼らは茶色くなったとても大きな袋を引きずりながら歩く。

その中の二人がたった一本のペットボトルを巡って取っ組み合いの喧嘩を始めた。

あんなに真剣な子供の顔を見たのは今までで始めてだと思う。

一本のペットボトルは一体何ルピーになるのだろうか？

彼らには家はない。  
自分が生きていくために"今"を生きる。

彼らの生きる姿を見ながら自分の頭に浮かんでくる言葉は何一つなかった。

いや、  
自分の持っている語彙力では表現できない光景が目の前に広がっていた。

彼らの眼差しの強さに私の周りの時間が一瞬止まった。

可哀想？

悲しい？

それとも己の無力さを嘆く？

どれも少し違う。

けれど、  
こみ上げてくる何かをこらえるので必死だった。

彼らはしばらくすると、  
笑いながら私の前を去って行った。

彼らに出逢えただけでもこの旅に出た価値はあったと心から思った。

コルカタではDON BOSCO ASHALAYAMという、  
1985年からハウラー駅周辺で生活しているストリートチルドレンの支援をしているNGOの職員の方とお会いして意見を  
交換しました。

現在は500人以上の子どもたちを保護しています。

#### 【6 Steps Towards Rehabilitation】

1. Street Presence
2. Weaning
3. Grooming
4. Training
5. Saving
6. Homing

このNGOはASHALAYAM HANDICRAFTS & COFFEE SHOPも開いていて、そのお店では子どもたちの作ったポストカードやカバン等のハンディクラフトが売られています。その収益金は子どもたちのために使われています。

ネパールでの撮影取材はストリートチルドレンについて。

ネパール人の友人にCWINを紹介してもらいます。  
CWINはネパールで一番大きなストリートチルドレンを保護している組織です。

もっと深くこの問題について踏み込んでいこうと思います。

H.S.  
境瑞貴…  
インドに完敗。

カテゴリ: [インド/India](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.07.04 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

## Kolkata

[Tweet](#)

[Check](#)

只今  
世界の車窓からのインド横断の旅をしています(\*´ω´)♪

インド前半では、  
母なるガンガー様と寝起きを共にしたヴァーラーナシーからコルカタへ移動してきた訳ですが…



同じ国とは思えないほどの街の変化の高低差で耳キーンとなるわ！



…というのが第一印象です。笑  
到着したのが夜だったこともありサダルストリートまでの道のりがやけに煌びやかに瞳に映ったのです。

しかし、  
バラナシも実は新しい空港に生まれ変わったのです。

…



どどん

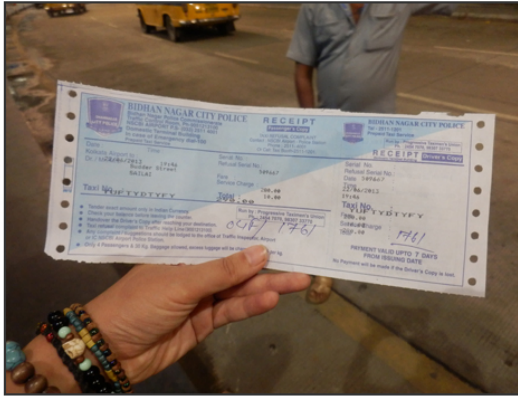


国際化め！

コルカタでは羽田空港よりも立派な空港や富裕層で賑わうお洒落なショッピングモールがお出迎えをしてくれました。



正直、想像していた街の様子と全然違い戸惑いました。  
その割には、バラナシの方がWi-Fi普及率が高いという不思議。



まだ完成して間もない空港の周りに以前はたくさんの貧しい人が暮らしていました。  
しかし、そこでで生活していた人々の家は強制撤去されて、郊外に追いやられてしまいました。住む場所は格安で国から提供されたものの多くの人が仕事を失ったのです。

何日が実際にコルカタで過ごしてみると、  
第一印象とは全く違う印象に変わりました。

ヴァーラーナシーとはまた全然違う"インド"の街並に胸が高鳴ります。

449万人の暮らすこの東インド最大の都市。  
車、バス、タクシー、人力車、オートリキシャー...

詩人タゴールの生まれ育った街かあ...  
彼の詩を嗜んだことはないけれど読んでみたかった。笑

Kolkata











この国の多くの国民の持っている感覚としては、  
貧富の差はあって当たり前というものなのかもしれない。



もちろん時代背景もあるけれど。

富のある人は貧しい者にお金もあげるし食べ物も与えるけれど、本気になってその根本にある原因やシステムを変えよ  
るという、国に求められていることではないか。

つと恐つくいる人ばんくはんの一握りはんしやないか? ?

コルカタで、

"貧しくして生まれて何が悪い?"

と言うこの言葉にであった時に…今までの自分の中にあった"揺るぎないもの"と思っていたものがない意味でも悪い意味でも、音を立てて崩れていったのがわかりました。

今まで私が考えていた"貧富の差"とは全く別物なのです。

"寄付してやっている"

"もらってやっている"

ありがとうという概念はそこにはないようにすら感じる。

また一步…

自分の知らない世界へと足を踏み入れた瞬間がインドでもあった。

小学生の時に図書室に置いてあったマザーテレサについての本を何かの拍子で手に取りました。  
低学年くらいの頃だったと思います。

今まで読んでどの本よりも自然と何もかもが入ってくるのが不思議だった。

その本は自分を魅了して、  
その後も何年も心の中に残り続けています。

もしかすると、

私がやろうとしていることの一番の根元は、その時に彼女が自分に与えた"何か"が影響しているのかもしれない。

幼い頃に彼女を通して始めてインドという国を知りました。

今でも始めてその本にであった時の空間の色やニオイや感覚まで覚えています。

Motherhouse of the Missionaries of Charity

40年以上過ごしたこの場所でマザーテレサは今も安らかに眠っています。



時は流れ…

留学先でもインド系の人々と関わることはとても多く、たくさんのことを学ばせてもらってきました。自分自身でも一生懸命インドについて長い時間をかけて勉強してきたつもりでした。

けれど、この国は何もかもが想像を上回ってきました。

まだまだ時間が必要だ。

残りの時間も全力で吸収したいです。

不思議な共生社会が成り立っています。

先日、  
引率をして下さっていた熊倉局長と進藤健太と三人でオックスフォード書店に行ってきました。

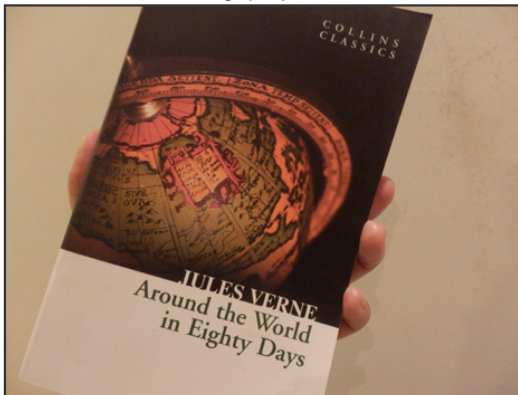


インド後半は列車での長期移動が多くなることや、  
英語力向上のためにも局長おすすめの本を購入しました！！！！



というよりも…  
読書がただ単に大好きなのですが。笑

その名もAround the World in Eighty Days



まさに今の自分にぴったり！

"Learn from yesterday. Live for today. Hope for tomorrow" - Albert Einstein

カテゴリ: [インド/India](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.07.03 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

▲ Pagetop